

「ご縁」をいただいたあなたへお届けする、「大きな想い」の「小さなお手紙」

2014年10月

60号



丸坊主だった私が「つる」と呼ばれるようになって、間もなく30年。そんな「つる」があなたに「おんがえし」をします。

つるの おんがえし

株式会社 感動・創庫
kando-soko

〒259-1145 伊勢原市板戸 208-103

TEL: 0463-79-9777

http://kando-soko.com

発行編集責任者: 芦川永光

キムチは、
美肌にいいですね～。
先生が分かりやすく
教えてくれたので、
日本でも作らなくっちゃ!!

キムチを飲みこむように
くって、くって、くって
くいまくりました!!

キムチ作り体験をしました～

TRAVEL REPORT IN KOREA 芦川 永光

観光の軸の変化 JAPANESE から CHINESE へ

まず、明洞中心街のお店の呼び込み、中国語で声をかけられる事がとても増えました。商品陳列棚の日本語表記が「うそ～！」ってくらい減って、代わりに中国語(漢字表記)が増えていました。観光の中心になっている都市だけに、当然の変化ですね。

化粧品店舗の活況ぶりも目立ちました。アパレル関連店舗の充実は、中国人のブランド志向にも比例して、売上も伸びているようです。バイヤーの流暢な中国語も短い期間で習得したことを考えれば、日本人も大いに見習う点はあるなあと感じます。

タクシードライバー、カフェの店員さんなどにヒアリングをすると、中国人観光客の増加は著しく、中国語の習得を目指すドライバーも多いとのこと。また中国人は「うるさい、面倒」ということは言いつつも、経済的な恩恵の方が上回っているというのが現実のようです。

食生活の発見 中国産への注意喚起

手作りキムチ体験教室でも、タクシードライバーさんからも「安い食材、安価な食事の原材料は中国産なので、注意が必要」との話を聞きました。ここまで言われたのは今回がはじめて。韓国内の食品自給率も日本同様、かなり低下しているのかもしれない。



↑屋台おやつ“ホットク”を食べました!!
作ってくれたお姉さんと一緒に

日韓、両国の貨幣価値の変遷 1年前からさらに円安

昨年、はじめての訪韓の際のレートは、10000円が103000ウォン換算。今回それが、95000ウォンまで低下していました。5年前は約150000ウォンだった時代を考えると、円安の影響は非常に大きくて、あたしら日本人観光客にとってはトホホな状況です。市場ではこれまで通り、安価で食品・雑貨などを買えますが、中心街で売っているものは、日本で買った方が安いと感じるものもありました。

カルチャー、エンターテイメントなど

Doota(東大門のショッピングタワー)の高級志向へのシフトが、一気に進みました。日本の六本木ヒルズと同等の価格帯、アパレル商品の高いアート性、独創性、どれをとっても世界のトップクラス。実力のあるデザイナーが活躍しているのでしょうか。日本も負けちゃおれん!

地方の観光地として、見習うべきは店舗で必ず流れるBGMの活用です。クルージングの締めで行なわれる、引き語りのコンサート。地下鉄各駅で流れているサウンドサインージ。屋台村の店舗ですら、ラジカセで歌謡曲やニューミュージックを流す、というように音楽と商業を結びつける徹底ぶり。ソウルタワーのエレベーター天井の映像は圧巻でした。テレビにも若手のロックミュージシャンとか出て、ここ数年のAKBと嵐が君臨している日本のミュージックチャートにも変化が欲しいなあって思いました。ネオ・ジャパネスな新しい才能、新たなジャンルの誕生を願って止みません。

日常、暮らしぶり 盤浦漢江公園の若者たち

ござを敷いて、テントを張って、飲食物を公園に持ち込んで憩うのが、韓流っていうんでしょうか。娯楽施設が少ないのかもしれませんが。ここに来て夜景を見ながら、ひたすら語らっているのでしょうか。代々木公園でこれをやったら職質かけられちゃうかな? 公園中にファミリーも多数。サイクリング、ランニングなどにいそしむ人々も多かったです。



印象に残ったワード

「MADE WITH 100% PASSION」 ロッテリアのユニフォーム

「100%の情熱で、つくってます!」と背中に書かれていました。「MADE」の部分、自分たち独自のやり方や、自慢のサービスに置き換えたら、カッコいいなって思いました。

「日本は韓国の先輩」 日本へのリスペクトメッセージ

「韓国のサムスン、日本の松下幸之助先生が教育をしてくれたおかげで、今の発展がある」とタクシードライバーさん談。「iPhoneを使わず、SONYを使おう!」とも言っていましたよ。

自分の目で見ないとわからない「日本へのリスペクト」

俯瞰で自分を見ると、見えなかったものまでよく見える。それが渡航体験の本質ですね。外から見たら、日本の報道はやっぱり切り取り過ぎじゃない? って思いました。

先日、「コミュニティー・コミュニケーション」の勉強をさせていただく機会がありました。9月の今ごろ、ブタさんが「過ごしやすい陽気だ」と言っても、南極育ちのペンギンさんは「暑くてたまらん」と異論をとる。この違いを知ることから、同じ価値観を共有するためのコミュニケーションが始まるってわけです。

安全なの? とか、日本人のことキライじゃないの? といった先入観、思い込みはひとまず横によけて…、とにかくメシが旨い国、韓国。海外旅行初心者の方にはピッタリでござんした。また、精力つけに、いきまっせ〜!



↑屋台は活気がありますよ!!
おばちゃんの作ったゴハン、美味しかったあ〜



↑芦川がこの旅で一番気に入った『チムタク』
安東の郷土料理、すご〜く辛いですよ!!

